

ピークレート **20Gbps**※

高速・大容量

5G ならではの

低遅延

5Gでより便利に

5G 目標性能

多数の端末との接続

無線区間の伝送遅延 **1ms**※

同時接続数 **10⁶デバイス/Km²**※

※標準化上(Recommendation ITU-R M.2083-0)で議論される要求条件

概要

- 5Gの特長を活かし、2020年代の超高度情報社会を実現
- 体感・ライフスタイル・ワークスタイルの革新
- 通信インフラ革新で社会・産業課題を解決、ビジネスモデルを変革
- 様々なパートナーとの協創により新しい市場を創造

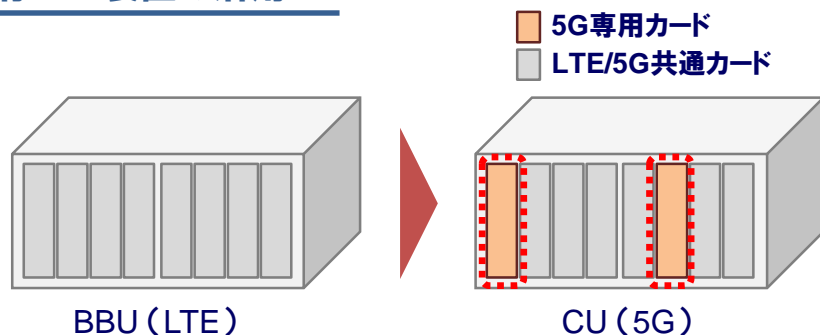
利用シーン

- 4K・8Kの高精細動画伝送
- スタジアムソリューション
- 建設機械の遠隔操作
- 遠隔医療・診療
- 遠隔地でのリアルタイムセッション
- IoTデバイスによる効率的な商品管理
- スマートホーム
- 都市映像のAI解析による異常検知 など

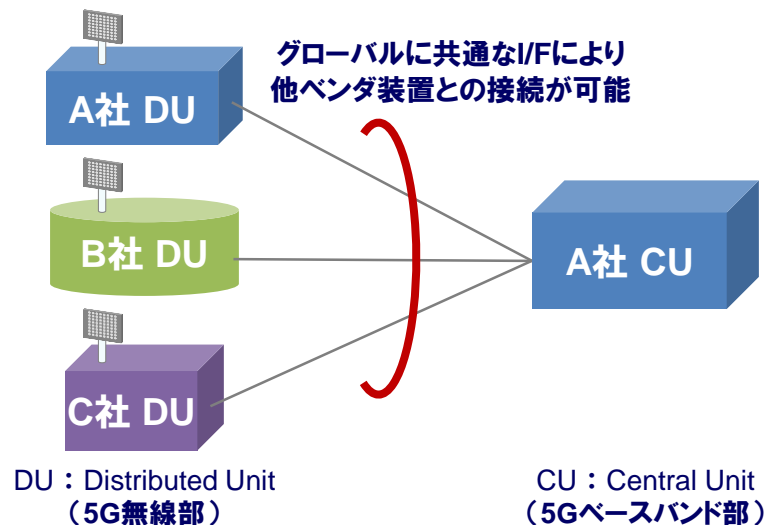
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう

既存LTE装置の活用



他ベンダ装置との接続



概要

- 既存のLTE装置を活用し、一部のカード交換およびソフトウェアのアップグレードにより、5Gが導入可能
- オープンで共通なインターフェースを用いて、他ベンダ装置との接続が可能

利用シーン

- LTEの既存装置を活用することにより、経済的かつ効率的に5Gネットワークを構築
- 各ベンダ装置の特長を活かし、ユースケースに応じた場所へ柔軟にエリア展開



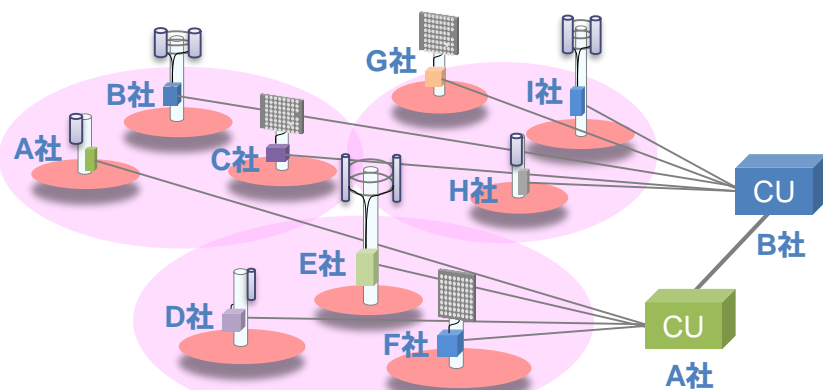
O-RAN ALLIANCEの設立



AT&T, China Mobile, Deutsche Telekom, NTT DOCOMO, Orange, Bharti Airtel, China Telecom, Reliance Jio Infocomm, KT, Singtel, SK telecom, Telecom Italia Mobile, Telefonica, Telstra, Verizon

※2018年11月現在

異なるベンダ間での相互接続



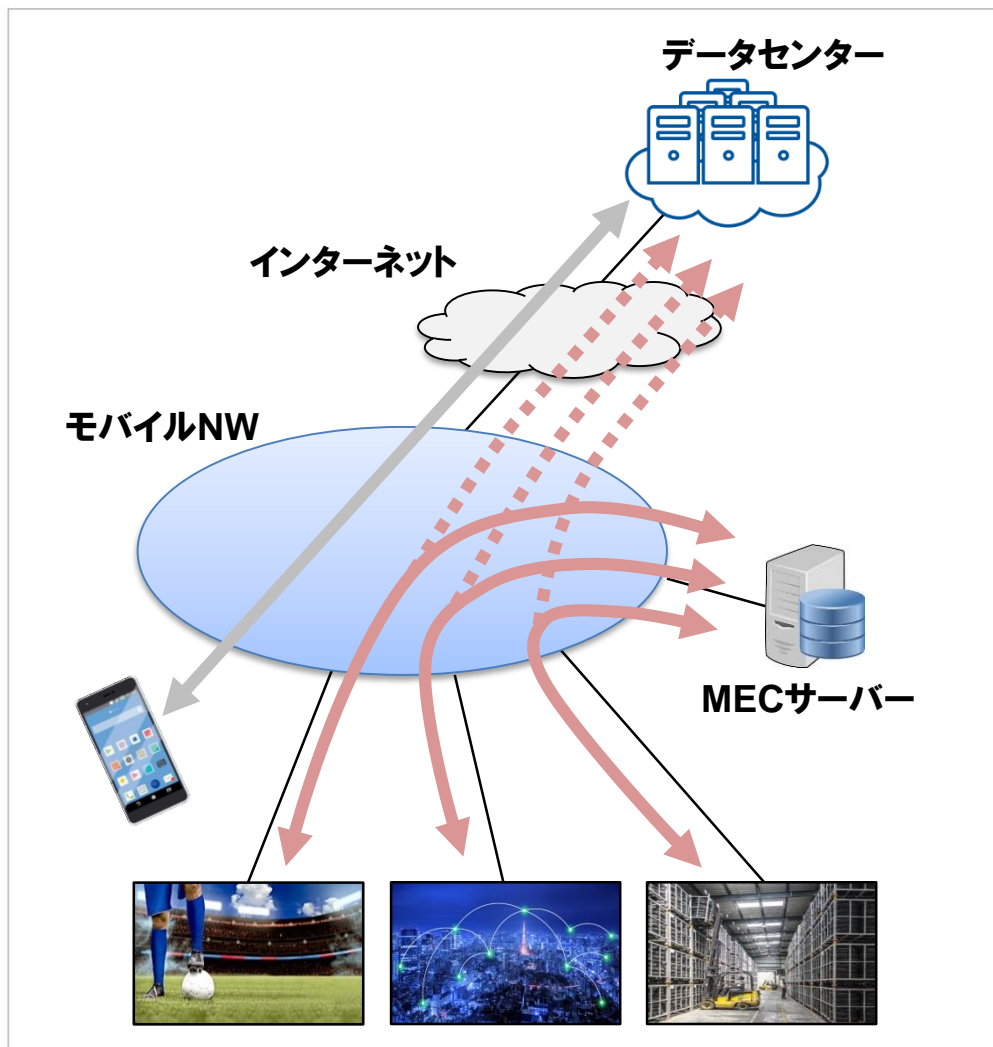
概要

- 世界のオペレータとO-RAN ALLIANCEを設立し、5G装置間インタフェースのオープン化・共通化を推進
- O-RAN ALLIANCE参加メンバー
オペレータ: 15社、ベンダ・プロバイダ: 8社
(2018年11月5日現在)

利用シーン

- 迅速・低コストで自由度の高いネットワークを実現するグローバルスケールの5Gエコシステムを構築
- 次世代の無線アクセスネットワークをより拡張性が高く、よりオープンでインテリジェントに構築





概要

- マルチアクセスエッジコンピューティング(MEC)技術では、インターネットを経由する通信をモバイルNW近傍にMECサーバを設置して処理させることで、通信遅延の低減が可能
- モバイルNW近傍で通信処理を完結することで、ネットワークへの負荷軽減にも寄与

利用シーン

- スタジアムソリューション
- スマートシティ
- スマートファクトリー など

実証実験 - ションパートナー

- モバイルNWの無線基地局近傍に設置したMECシステムから、20台のスマートフォンに同時配信する実験を行い、ほとんど遅延差なく配信可能であることを立証(2017年9月)

